



hida

広 報

ひだ

町 木



第13号

肥田町
郷づくり委員会
H11. 6. 1発行

ごあいさつ

郷づくり委員長 藤野 慶三郎

平成八年度郷づくり委員会が設立され、初代委員長の推薦を頂いて三年が経過致しましたが、経験、能力共に乏しく皆様の御期待に副う事が出来ず、誠に申し訳なく存じております。

この度、自治会長のもう一期だけとの御熱心な御推薦を受け、再度委員長の大役をお受けする事になりました。

前期の反省をもとに、各部長は前任者にお願ひして、夫々の事業部では尚一層の積極的な活動、推進を計る為、規約に基づく世話役若干名を指名して頂き、各部の計画、実践に努めて頂くと共に、相談役（各団体の長）との連携と調整を密にして、皆様からの御要望、御意見を取り入れた、二十一世紀に向かって継続的、長期計画構想を立て、自治会運営の相談役とした使命を旨に、従来の事業の継続の上に、より充実した活動の計画を進めております。これについては、後日御報告させて頂きまします。

各事業部の計画、推進につきましても皆様方のより建設的な御提言を賜わり、町内一丸となって、郷づくり事業の推進を計り、恵まれた自然と先人が残された歴史遺産を活かした、明るく住み良い肥田づくりを目指して、頑張つて行きたいと思っております。

皆様の御支援、御協力をお願い致します。

郷づくり事業部の組織充実にについて

郷づくり委員会では、本年度より、各事業部の組織強化を図り、いっそう事業の推進と充実を進めるため、規約第8条により、各部の世話役を次の方々をお願いしました。ご苦労さまですが、よろしく御協力をお願いします。

部 氏 名

ふれあい広報事業部 郷づくり相談役
あじさい文庫 自治会文教部
環境事業部 藤野泰弘・薩摩茂和
教養・文化事業部 自治会文教部
文化財保存事業部 成宮 為夫
伝承事業部 薩摩 幸男
土地開発計画事業部 伊関 猪蔵

自治会長ご挨拶

自治会長 辻野 治男

この度、はからずも皆様のご推挙を受け、平成十一年度の自治会長と云う重責をおあずかりすることになり、誠に身も心も引き締まる思いでございます。

振り返りますと、私も四十余年にわたり、企業の一員としてきびしい競争の中で、唯ひ

たすら走つてまいりました。そして現在もまだきびしい企業社会の中に身を置いており、落ち着いてゆっくり周囲を見渡すゆとりもありません、日々を過ごしております。町内の事もよく知らず、そのうえこの様な状態で、果たして皆様のご期待に沿うことが出来るのか、全く自信がございませんが、役員各位のご協力を頂きながら精一杯の努力をする所存でございます。何卒一層のご指導、ご鞭撻を賜わります様、よろしく御願い申し上げます。

さて、昨年は来るべき二十一世紀を目前に控えまして、本格的な少子高齢社会の到来や、地球環境問題への関心の高まりの中で、日本経済は先行き不透明感から、二年連続、景気は低迷し、金融システムの再構築をはじめ、各業界の再編が一気に加速されるなど、社会経済情勢は大変不安定な年でありました。

政府の適切な経済対策で、一日も早い景気の回復を願うばかりです。

特に近年少子高齢化の急速な進行、又地方分散型社会への移行と云う流れの中で、地域社会の仕組みも大きく変わろうとしています。公的介護保険制度も来年四月よりスタートすると聞いております。私達も日々生活の中で、この様な社会環境の変化に遅れることなく順応し、最後はやはり自分自身の問題として、自衛と自立の精神を持って対処して行くことが大切であろうと考えます。

我がまち肥田町も、ますます高齢化社会となつてまいります今日、地域住民が一層連繋を強め、お互いが協力し支えあえるまちに、心のふれあう明るいまちに、そして共に安心して暮せるまちに、そんなまちづくりが重要なテーマであろうと考えます。

入賞おめでとう

昨年十二月、彦根市教育委員会では「はーとふるメッセー」を募集。肥田町より、成宮好美さんは、一般の部「作文部門」に「特賞」に入賞されました。

（彦根市広報に掲載予定）

◎遊歩道の

駐車禁止について

懸案の特に魚釣りシーズンにおける駐車禁止について、県土木事務所、市役所、愛知川警察署に対して、前々年より連合自治会、周辺地区自治会の協力を得て、ようやく金沢町長江（短大駐車場西側）に駐車スペースの確保をして頂ける事となりました。完成は少々時間がかかる事と思いますが、町内の方々も遊歩道での駐車禁止に御協力をお願い致します。

緑 風

夏の日の思い出

それは暑い夏の昼下がりでした。その時私は小学校四年生。としちゃん、清ちゃん、芳ちゃん達と学校のウサギ当番をしての帰り道。突然、見知らぬおじさんから「お嬢ら、戦争終ったさかい、もうもんべ穿かんでもよいのやで。」と声をかけられ、びつくりして、みんなきょんとしてしまいました。そう言えはお昼ごはんの時、ラジオに白い布をかけて、天皇陛下の何やら厳かなお言葉を聴いたなあ、と話しながら帰りました。

花模様など見たくてもなかった頃のこと。私は格子の布団生地で母が作ってくれたアッパッパ（今のワンピース）にモンペという出で立ちだったと思います。戦争が終ったからはもつと苦しくて辛い毎日が始まりました。学校から帰るとすぐに畑に出て桑畠を開墾し、そこへサツマ芋やそら豆を植えるのを手伝いました。

あの頃、宇曽川の堤防沿いはそんな開墾畑ばかりで、毎日タラタラ汗を流しては「寺ゆ」に降りて、冷たい水をがぶがぶ飲みました。今でもあの美味しかった水の味が忘れられません。そういえば堤防や田んぼ道にいっぱいあった美味しい桑の実やいたどり、スイスイ葉やつばな等、みんなどこへ行ってしまったのでしょうか。でも今でも私の夢に出てくるのはそうして遊んだ肥田の村道や友達の家裏庭ばかり。「ふるさと」って本当にいいものですね。

西村（旧姓 松枝）明子

（能登川在住）

この一年を振り返って

自警団班長 伊関 正人

肥田町の皆様こんにちは。日頃は、消防団活動におきまして、何かとご協力頂き誠に有難うございます。本年（平成10年／一月～十二月）彦根市の火事件数は、四十八件で、昨年に比べまして三十二件の減少となりました。

主な原因は、一位放火、二位たばこ、三位コンロとなっております。全国的に見ても、放火が一位ですので、家の廻りには燃えやすいものを置かないように、また置いていないか注意しておいて下さい。それから昨年四月より携帯電話でも一一九番出来るようになりましたので、大変役に立つ事と思います。



2月28日 3町合同訓練

これからは、毎に暖かくなりストーブ等を片付ける際には、必ず燃料を使い切るか、抜き取るかしてしまってください。

最後に、火の元に十分注意をされ、火の用心に努めて頂きますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

崇徳寺本尊修復なる

彦根市指定有形文化財崇徳寺観世音菩薩像本尊が三月二十一日修復が完了。三月二十一日十時より開眼法要が営まれ、午後より公民館において、彦根城博物館学芸員齊藤先生

の「仏像—こころとかたち」の講演に続いて、肥田町錦城会の皆様による漢詩吟詠、小島修一先生の「うたと手品とおはなし」と盛大に開眼記念行事が施行されました。



祝賀行事の一幕

三百年の延命に貢献

—崇徳寺本尊像蘇る—

高瀬 俊英

仏像修復にご加担いただいた方々の浄財は、百六十七名、百五十万六千円にのぼった。それに市からの補助金と合わせて、三百八十三万五千四百円を三月末日、京都国宝修理所へ送金することができた。

三月二十一日、開眼法要をすませて、崇徳寺の「観音さん」は新しく蘇った。

半年前の解体修理で、この仏像の作者の記録は発見されなかったが、鎌倉後期（一三〇〇年頃の作品）だといわれ、約七百年が経過している。仏像の下部には、元禄五年（一六九二年）に修繕したという墨書があった。造られて四百年たつての修繕である。台座や光背は朽ちたためか、その頃新調したもので、木造も四百年たつと朽ちている。

三百年が修理補強の周期のようである。今年は「元禄」から数えて約三百年がたつ。ここに平成の大修理が終了した。向こう三百年は大丈夫だと専門家は折り紙をつけている。

文化財の延命に一役買っていたいただいた方々に感謝しながら、喜びを分かち合いたい心境である。

ご入学おめでとう!!

ピッカピカの一年生
今年の一年生は三名です。元氣いっぱい稲枝東小のよい子になってください。



成宮 愛理さん



薩摩あかりさん



青木 優美さん

ご結婚おめでとう!!

本持 宏さん やよいさん
(平成11・1・19)

お誕生おめでとう!!

なまえ	生年月日	父の名
宮川 聖基	H11・3・11	誠
伊関 伎	H11・3・12	正人
中山 大安	H11・4・3	直